

[79]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2339158>

出版情報：文學研究. 79, 1982-03-30. Faculty of Literature, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

彙報

九州大学文学部文学科関係講義題目

昭和五十六年度第一学期（昭和五十六年四月～十月）

英語学

特講	English Syntax	大江	教授
演習	Joyce C. Oates	〃	〃
	英作文	〃	〃
演習	意味と形成	〃	〃
特研		〃	〃
演習	英語語彙の意味変化研究	河上	助教授
〃	英文法研究	〃	〃
〃	語法研究 I	〃	〃
講義	英米文学作品速読	〃	〃
特研		〃	〃
	英会話（中級）	クラーク	教師
	英会話（上級）	スマイリー	教師
	英文学	〃	〃
講義	シェイクスピア	蛭原	助教授
演習	文学研究の方法	〃	〃
〃	史劇	〃	〃
特研		〃	〃

演習 小説 クラーク 教師

〃 キーツの詩 〃

〃 ミルトン 〃

〃 コンラッド (教養部) 吉田 助教授

臨講 スペンサー研究 (大阪大学) 藤井 助教授

米文学 スマイリー教師

演習 劇 〃

〃 小説 〃

〃 W. Faulkner, *The Sound and the Fury* 〃

講義 「社会的弱者」の行方 (教養部) 橋口 教授

昭和五十六年度第二学期 (昭和五十六年十月～昭和五十七年三月)

(昭和五十六年十月～昭和五十七年三月)

英語学 大江 教授

演習 英語の歴史 〃

〃 文学作品の語学的研究 〃

〃 意味と形成 〃

特研 英語第一 〃

講義 語用論 河上 助教授

演習 英文法 (統) 〃

〃 英会話・英作文 〃

演習 語法研究 II 〃

特研 英会話 (中級) 〃

クラーク 教師

英会話(上級)

スマイリー教師

英文学

特講 ロマンズ劇

蛭原 助教授

講読 ミルトン

〃

演習 スペンサー

〃

特研 テニソン

クラーク 教師

演習 Murdoch, *The Sandcastle*

〃

〃 形而上詩

〃

〃 ロレンス

園井 助教授

米文学

(教養部)

演習 短編

スマイリー教師

〃 劇

〃

〃 H. James, *The Ambassadors*

〃

〃 短編

橋口 教授

〃

(教養部)

学会・研究室行事

英語学・英文学関係

○日本英文学会第53回大会

(昭和56年5月23・24日 於創価大学)

シンポジウム

イギリス詩現況

園井 英 秀

○日本英文学会第34回九州支部大会

(昭和56年11月14日・15日 於筑紫女学園短期大学)

A. C. Bradley の *Hamlet* 批評

中司 雅 謙

英雄 Coriolanus の悲劇

太田 一 昭

コンラッド初期の夢想家たちの夢と自己認識——

『島の流れ者』『ロード・ジム』『闇の奥』を中

城島 秀 子

心に——

J・ジョイス『若き日の芸術家の肖像』

織田 康 江

——主題と手法——

ナサニエル・ホーソンの『緋文字』に於ける現実

田江 安 広

使役動詞 make, get, have の内在の意味と補文

徳永 信 子

の相のかかりについて

〃

Verbs of Saying の意味的・統語的特徴について

熊本 千 明

平叙文における語順転倒について

坂本 育 生

二つの Aspect と完了進行形

吉原 久 美子

シンポジウム

アメリカ演劇における family

上野 征 一郎

Ocain No. 24 (昭和56年11月発行)

ギャスケル『従妹フィリス』の一考察

大野 龍 浩

——青春の日の恋——

J・ジョイス『若き日の芸術家の肖像』

織田 康 江

——芸術入会の動機付け——

'Should' の基本的意味について

熊本 千 明

——間接発話行為の観点から——

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

平叙文における語順転倒について

——focus, weight, emphasis との関係——

坂本 育生

D. H. Lawrence, *Lady Chatterley's Lover*

——構成と意味——

ナサニエル・ホーソンの四つの短編

——孤立というテーマを中心に——

法助動詞に反映される話し手の主観性

——must, may, can に関して——

使役動詞 make, get, have の意味

進行形の意味と用法について

○九州大学公開講座

(昭和56年9月5日～11月14日 於九州大学教養部)

テーマ ことばの科学

ことばと意味——発話文の意味

○九州アメリカ文学会 (於九州大学教養部)

A Question of Identity: *Invisible Man*

ダグラス・D・スマイリー

○第6回九英会賞

『英語の語源』I・II (創元社、昭和56年)

太田垣 正義

昭和五十六年度第一学期 (昭和五十六年四月～九月)

国語学

特講 国語学要論

奥村 教授

演習 平曲

〃 国語学の諸問題

特研 アクセント史

特講 国語史

演習 説話集研究

〃 国語史資料研究

特研 国語表記法の研究

演習 万葉集

〃 国文学

特講 王朝末期物語論

演習 蜻蛉日記

〃 江談抄

特研 平安朝文学研究の諸問題

特講 洒落本史

演習 西鶴

〃 五山堂詩話

特研 近世文学の諸問題

演習 現代文学作品研究

〃 近代詩の諸問題

特研 近代文学史論

講義 『おくのほそ道』の諸問題

臨講 都市空間の文学

〃 〃 〃

昭和五十六年度第二学期 (昭和五十六年十月～三月)

白石 教授

〃 〃 〃

迫野 助教

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

鶴 教授

〃 〃 〃

今井 教授

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

中野 助教

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

重松 教授

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

前田 教授

〃 〃 〃

〃 〃 〃

国語学

(福岡大学) 白石教授

特講 国語学要論

奥村教授

演習 平曲

〃

〃 国語学の諸問題

〃

特研 アクセント史

迫野 助教授

特講 国語史

〃

演習 説話集研究

〃

〃 国語史資料研究

〃

特研 国語表記法の研究

鶴 島 教授

講義 上代語の研究

(福岡女子大学)

鶴 島 教授

臨講 訓点語の研究

(東京大学)

築 島 教授

国文学

今井教授

特講 王朝末期物語論

〃

演習 紫式部日記

〃

〃 拾遺和歌集

〃

特研 平安朝文学研究の諸問題

中野 助教授

特講 洒落本史

〃

演習 西鶴

〃

〃 五山堂詩話

〃

特研 近世文学の諸問題

(教養部)

重松 教授

演習 現代文学作品研究

〃

〃 近代詩の諸問題

〃

特研 近代文学史論

〃

講義 『おくのほそ道』の諸問題

〃

学会・研究室行事

国語学・国文学関係

○九州大学国語国文学会 (昭和56年6月7日)

中原中也論——生活との確執について——中原

豊

萩原朔太郎 「愛憐詩篇」から『月に吠える』へ

国生 雅子

動詞構成接尾辞についての一考察

大橋 百合子

——上代資料を中心に——

中村 万里

平曲資料に反映した清濁の一考察

辛島 正雄

『風に紅葉』について

森下 純昭

大鏡と伊勢・古今

橋口 晋作

長門本『平家物語』における住吉明神と伊勢明神

中山 右尚

黄表紙『鉦男 金紙屑』小考

吉田 達

『大和物語』初段を考える——宇多・伊勢所生子

今井 源衛

二人説を背景として——

〃

『我身にたどる姫君』の女人像

〃

〃

〃

○第31回西日本国語国文学会

(於鹿児島大学、昭和56年9月19~20日)

首便形・助動詞等の仮名遣い

坂口 至

——近世初期平仮名資料における——

『延五秘抄』について

萩市見島の方言アクセント私見

九州大学附属図書館萩野文庫蔵『今昔物語抄』

について

院政・鎌倉期における表記形式と漢字使用の

関連について

『伊勢物語』二段を考える

○語文研究 第51号(昭和56年6月)

支子文庫本「拾玉集」について

原音声調から観た日本書紀首仮名表記試論

定家本『土佐日記』の表記について

△紹介▽

今井源衛著『菘倫 光源氏一部歌』

中野三敏著『戯作研究』

昭和五十六年度第一学期

中国文学

特講 李白論

演習 文選李善注

毛詩注疏

特研 中国文学の諸問題

特講 柳宗元の文学

演習 詩品

滄浪詩話

崎村弘文

添田建治郎

追野虔徳

榎田良照

吉田達

西丸妙子

高山倫明

望月正道

古賀典子

中山右尚

特研 中国文学思想史の諸問題

好球伝

唐人小説

中国現代小説

臨講 顧炎武を中心とした文学者たち

中国語学

老残遊記

現代中国語文体研究

現代漢語語法研究

昭和五十六年度第二学期

中国文学

特講 李白論

演習 文選李善注

毛詩注疏

特研 中国文学の諸問題

好速伝

唐人小説

清代詩文

中国現代小説

中国語学

老残遊記

現代中国語文体研究

現代漢語語法研究

劉教

岩佐助教

清水教授

劉教

那須教授

劉教

那須教授

劉教

岡村教授

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

劉教

学会・研究室行事

中国文学関係

○中国文芸座談会

第74回（昭和56年1月25日）

帰荘の文学における錢謙益の継承

干宝「搜神記」考

第75回（3月29日）

馮夢龍「三言」の対偶的編纂方法について

—— 喻世明言の部 ——

袁中郎の「性靈」

—— その動揺と混乱 ——

第76回（6月28日）

『文心雕龍』上巻二十五篇について

—— 原理論と文体論の関係 ——

李白「峨眉山月歌」考

—— 李白の出蜀経路とその詩想開眼 ——

第77回（9月6日）

曹操とその周辺

杜牧の詩と散文

○昭和56年度九州中国学会（於佐賀女子短期大学）

馮夢龍の三言編纂の性格について

袁中郎の「性靈」

—— その動揺と混乱 ——

呉梅村「琵琶行」における白居易「琵琶行」の

受容—— 遷謫の意を中心にして —— 竹村 則行

○第三十三回日本中国学会（於北海道大学 10月3日）

杜牧の詩と散文

—— その両者を支える創作基盤 —— 愛 甲 弘 志

李白の「峨眉山月歌」について

—— 李白の出蜀経路とその詩想開眼 —— 岡 村 繁

○中国文学論集 第10号（昭和56年11月発行）

敦煌卷子俗写文字与俗文学之研究 潘 重 規

続・初唐歴史家の文学思想 古 川 末 喜

洛陽時代の白居易

—— 「狂」という自己意識について —— 二 宮 俊 博

杜牧と韓愈との関係について 愛 甲 弘 志

『古今小説』の編纂方法

—— その対偶構成について —— 福 満 正 博

袁中郎の性靈説

—— その動揺と帰結 —— 西 村 秀 人

呉偉業「琵琶行」における白居易「琵琶行」の

受容 竹 村 則 行

△書評▽

林田慎之助著『魯迅のなかの古典』 山 田 敬 三

中国文学論集既刊総目録

昭和五十六年度第一学期

独語学

演習 中世語学 (Helmbrecht) 西田 教授

〃 独訳演習『夢酔独言』 伊藤 助教授

〃 独語会話 (産業医大) E・J・ニーデラー講師

独文学

演習 十九世紀文学 (Don Juan und Faust) 西田 教授

〃 中世文学 (Parzival) 西田 教授

特研 論文指導

演習 現代文学 (Der Mann ohne Eigenschaften) 伊藤 助教授

〃 十八世紀小説 (Anton Reiser) 〃

特研 Colloquium 〃

演習 言語世俗化類型論 (福岡大学) 稲元 教授

〃 ドイツ現代詩 (教養部) 両角 助教授

昭和五十六年度第二学期

特講 独語史 西田 教授

演習 中世語学 (Der arme Heinrich) 〃

〃 独訳演習『日本人とは何か』 伊藤 助教授

〃 独語会話 (産業医大) E・J・ニーデラー講師

独文学

演習 中世文学 (Tristan) 西田 教授

〃 〃

〃 〃

〃 〃

特研 論文指導

特講 ゲーテの自叙伝 伊藤 助教授

演習 現代文学 (Der Mann ohne Eigenschaften) 〃

〃 十八世紀小説 (Anton Reiser) 〃

特研 Colloquium 〃

演習 言語世俗化類型論 (福岡大学) 稲元 教授

〃 ドイツ現代詩 (教養部) 両角 助教授

臨講 現代ドイツ演劇 (学習院大学) 岩淵 教授

〃 ドイツ思想史 (名古屋大学) E・ヘルツェン教師

学会・研究室行事

独文関係

○日本独文学会第35回総会研究発表会

(昭和56年5月13日・14日 於東京・日本都市センター)

○日本独文学会秋季研究発表会

(昭和56年10月6日・7日 於愛媛大学)

ドイツ自伝小説の源流への一考察 伊藤 利男

„Sie wissen das nicht, aber sie tun es.“をめぐって (シンポジウム「ルカーチの文芸理論

の諸問題」において) 稲元 萌

トーマス・マンにおけるフミニスムスの概念に

ついで 田中 曉

書簡に見るひとつのニーチェ像 武田輝章

○第33回日本独文学西日本支部総会研究発表会

(昭和56年11月28日・29日 於熊本大学)

ギェンター・グラスの『猫と鼠』——主人公

ヨアヒム・マールケの生と死について——

大羽 武

レッシングの文学観 軽部 雄二

『緑のハイムリヒ』における「祈り」について

阿部 吉雄

リルケの芸術観 知念 潔

ワイマル時代初期のゲーテ 八木 昭臣

——その使命と芸術——

昭和五十六年度前期

仏語学

演習 J. P. Richard: Microlectures 田中 教授

” A. de Musset: Fantasio ”

” Le Bidois: Syntaxe du français moderne.

” Conversation (教養部) 高藤 助教授

” Molière: Bourgeois Gentilhomme ブーヴイエ教師

” 仏文学 ”

演習 J. Starobinsky: L'Oeil vivant 田中 教授

” B. D'Aurevilly: Diaboliques ”

” ”

特研 ”

演習 Poèmes français (A. de Vigny etc...) 西岡 助教授

St-Beyre: Causeries du Lundi ”

” ”

特講 ハルサックを中心とした地方文学

” ”

特研 ”

演習 J. Girardoux: La Guerre de Troie n'aura pas lieu (熊本大学) 常岡 教授

” Proust: A la Recherche du Temps perdu ブーヴイエ教師

” Dissertation ”

” ”

昭和五十六年度後期

仏語学

演習 J. P. Richard: Microlectures 田中 教授

” J. Dubois: La Nouvelle Grammaire du Français. ”

” Le Bidois: Syntaxe du français moderne.

” Conversation (教養部) 高藤 助教授

” Langue et la Civilisation françaises ブーヴイエ教師

” ”

” 仏文学 ”

演習 R. Barthes: Sur Racine. 田中 教授

” B. D'Aurevilly: Le Rideau Cramoisi ”

” ”

特研 ”

演習 Poèmes français (Baudelaire, Hugo, ”

etc. ...)	西岡 助教
M. Bator: La Critique et l'Invention	" "
Balzac: Les Proscrits	" "
特講 バルザックを中心とした日本文学(統)	" "
特研 Zola: L'Attaque du Moulin	" "
(熊本大学) 常岡 教授	
Proust: A la Recherche du Temps perdu.	ブーヴィエ 教師
Preparation aux differents concours	" "
昭和五十六年度第一二期	
言語学	
特講 意味論の歴史	松田 教授
演習 意味の分析	Dillon: Introduction to Contemporary Linguistic Semantics
"	" "
"	" "
特研	" "
演習	Smith & Wilson: Linguistics 他 早田 助教
"	音声学
"	" "
特研	音韻論実習
"	" "

彙 報

演習 近代英語音韻史論 (教養部)	林 教授
"	" "
"	ハリディーの文法理論
"	ロマンス言語学 (西南学院大学)
昭和五十六年度第二二期	富盛 助教
特講 言語学概論	Lyons: Language and Linguistics
演習 意味の分析	Nida: Componential Analysis of Meaning
"	ヘブライ語II
"	意味論演習
特研	" "
特講 日本語方言の記述法	早田 助教
演習 東洋語の諸問題	" "
"	音韻論実習
特研	" "
演習 近代英語音韻史論 (教養部)	林 教授
"	ハリディーの文法理論
"	ロマンス言語学 (西南学院大学)
臨講 アイヌ語概説 (早稲田大学)	田村 助教
"	富盛 助教

学会・研究室行事

言語学 関係

○九大言語学研究室報告 第2号 (昭和56年4月発行)
九州方言に見られる母音語幹動詞のラ行子音語幹

化について

陣内 正敬

「訓民正音」表記にみられる抽象性二題

田村 宏

アラビア語エジプト方言における G C G C G

動詞に就て

松田 伊作

卒業論文要旨(昭和56年1月提出)

日本語の「擬情語」の意味分類

中島 由美

満洲語文語の従属文の主語がとる助詞一及び

be について

久保 智之

アラビア語の前置詞の意味

敷田 康

アラビア語動詞における基本形と第3形の意味

関係

深川 順子

アラビア語動詞の第2形について

宮本 真由美

○第二十一回 九州大学言語科学研究会

(昭和56年4月4日 於九州大学医学部)

九州方言における母音語幹動詞のラ行子音語幹化

について

陣内 正敬

朝鮮語の外来要素の語頭Rについて

田村 宏